



天野 光子さん  
(旭町)

御代田に暮らせば

御代田に来て、二度目の冬が過ぎた。

ぬけるように真青な空、切り取るようにくつきり立つ浅間山：この冬の凜とした空気が、私は好きだ。春、満開の桜に縁取られた八ヶ岳は、春霞に煙り、咲き乱れる草花は小鳥と共に、春の喜びを歌っているかのようだ。

夏には、辺り一面のレタス畑がパッチワークのように広がり、照りつける太陽や木々の緑に、この地にかない力強さを感じる。

秋、実った力リンの香りに誘われながらの散歩は、

至福の時間である。数えあげればきりが無い程の自然の豊かさ美しさ!! 「この地を選んで良かった」と、思う日々である。

さらに、毎日の登下校時に、子ども達が「おはようございます」「こんにちは」と、元気にあいさつをしてくれる。なんと気持ちの良いことだろう。

あいさつは、コミュニケーションの基本と言うが、これで町の印象が格段とグレードアップすることは間違いない。

また、引越越し翌日に、手作りのお惣菜と連絡先のメモを渡して下さる御近所の方の優しさ、様々な行事に誘って下さる自治会の方々の心遣いに、一日も早くこの地に慣れ、何かの役に立てるようにになりたいと思う。

御代田は、交通の便も比較的良い。東京方面からの友人も、入れ変わり訪れ、この地の素晴らしさを満喫、再訪してくれる人も多い。これからも、この町の良

さを失うことなく、大きな視野に立った行政が行われ、更に誇れる町になることを楽しみに暮らして行きたい。



去る3月7日午前10時より平成26年第一回御代田町議会定例会が開会されました。年度新たに、私たち新人議員5名も、町の年間運営の根幹となる予算案を柱に、各条例案、人事案などに対峙し格別な緊張感を持って臨みました。

した会計組み立てに対し、対応のプロセスや意志決定の遅延に厳しく迫る姿勢と、現実眼前の会計を破綻させてはならないと、真剣な協議が行われてきました。結果、苦渋の選択となつたものもあります。

経験不足とはいえ町民の方々の付託を背に受けています。手抜きは許されません。しかしながら細部にわたる行政会計用語をはじめとする専門性の複雑さはその読み取りに更なる研鑽の必要性を痛感した所でした。先輩議員も苦勞・努力しているとの事。ならば尚余計に勉強向上に努めねばと思いを強くしました。

自治体財政は多くの事業事業の執行で使われ運営されます。合併せず自立の選択をし、歩んでいる我が町で「次代の人達と共に力強く生き続ける為にはどうすべきか?」「本当に必要で価値のある事への選択は?」など有効で正しい意志決定へ向け、全員野球で邁進中です。

井田 理恵



同時に、その数字的根拠と裏付けへの探求心と姿勢は、己の直感が諸々から発する所も多々あると思え、素直に発信してゆく事も重要であるのではと考えています。想定外の歳出による切迫